



こんにちは

平成27年2月 No.87

豊前市議会です

■発行／豊前市議会 豊前市大字吉木955 TEL82-1111 内線1311 議会へのご意見をお寄せ下さい
■ホームページ／<http://www.city.buzen.lg.jp>

昨年11月に開催された議会報告会の様子 詳細は13ページに掲載



議会報告会

【岩屋活性化センター】



議会報告会

【総合福祉センター】



議会報告会

【山田公民館】



議会報告会

【中央公民館】

12月定例会
(11/25～12/12)
主な内容

●CONTENTS・もくじ

議案の概要	2 P
平成26年12月定例会 議案審議結果	3 P
一般質問	4～12 P
議会報告会	13 P
トピックス・編集後記	14 P

平成26年第5回定例会は、11月25日から12月12日までの18日間の会期で開催されました。

本定例会には、条例6件、予算4件、その他の案件5件の合わせて15議案が提出されました。提出された議案は、それぞれ所管の常任委員会で慎重に審査され、うち1件が閉会中の継続審査となり、残りの14件は原案どおり可決されました。

また、議会運営委員会より意見書案1件が提案され、原案どおり可決されました。

継続審査

求菩提キャンプ場の指定管理について!!

平成27年4月1日からの求菩提キャンプ場の管理を市観光文化協会へ再指定する議案でありましたが、市観光文化協会の経理事務及び執行部の答弁が問題となり、解決まで保留ということで継続審査となりました。

子育て支援で、こども医療費助成拡充へ!!

前回の議会だより（No.86号）でも取り上げました『こども医療費の助成拡大』に関して、12月議会において市長より議案の上程がありました。文教厚生委員会に付託され慎重審議の結果、全会一致で可決されました。

現行の豊前市の「こども医療」では、小学校就学から中学卒業まで通院に係る医療費が3割負担でしたが、改正案では、平成27年4月1日より一医療機関で**月額800円を超える医療費が無料**となります。

《 現 行 》

		就学前	小学生	中学生	高校生以上
乳幼児・こども医療	通院	無 料	3割負担		3割負担
	入院	無 料			



《 改 正 案 》

		就学前	小学生	中学生	高校生以上
乳幼児・こども医療	通院	無 料	800円/月(一医療機関)		3割負担
	入院	無 料			

※ひとり親家庭等医療、重度障害者医療については、今までどおりで変更はありません。

指定管理を行う公共施設の一覧

施 設 名	指 定 管 理 者
道の駅「豊前おこしかけ」	(株) ぶぜん街づくり会社
畑冷泉館・冷泉茶屋	畑活性化協議会
農林水産物集出荷貯蔵施設	くぼて薬草研究会
林産物処理加工施設、林産物展示直売施設	くぼて工房

※指定期間は、いずれも平成27年度から平成29年度までの3年間です。

平成26年12月定例会 議案審議結果

「○」……賛成 「●」……反対
 「議長」……議長職のため表決に参加しない

議案番号	議案等の名称	審議結果	黒江	平田	安江	鈴木	福井	鎌田	岡本	榎本	尾澤	山崎	爪丸	宮田	磯永	渡邊	秋成	賛	反
			哲文	精一	千賀夫	正博	昌文	晃二	清靖	義憲	満治	廣美	裕和	精一	優二	一	茂信	成	対
議案第60号	豊前市議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	○	14	0
議案第61号	豊前市職員の給与に関する条例の一部改正について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	○	14	0
議案第62号	豊前市税条例の一部改正について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	議長	○	○	13	1
議案第63号	豊前市乳幼児・子ども医療費の支給に関する条例の一部改正について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	○	14	0
議案第64号	指定管理者の指定について (道の駅「豊前おこしかけ」)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	○	14	0
議案第65号	指定管理者の指定について (畑冷泉館・冷泉茶屋)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	○	14	0
議案第67号	指定管理者の指定について (農林水産物集出荷貯蔵施設)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	○	14	0
議案第68号	指定管理者の指定について (林産物処理加工施設・林産物展示直売施設)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	○	14	0
議案第69号	平成26年度豊前市一般会計補正予算 (第3号)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	○	14	0
議案第70号	平成26年度豊前市国民健康保険事業特別会計補正予算(第1号)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	○	14	0
議案第71号	平成26年度豊前市一般会計補正予算 (第4号)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	○	14	0
議案第72号	平成26年度豊前市国民健康保険事業特別会計補正予算(第2号)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	○	14	0
議案第73号	豊前市山村振興施設の設置及び管理に関する条例の一部改正について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	○	14	0
議案第74号	豊前市国民健康保険条例の一部改正について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	○	14	0
意見書案第4号	ウイルス性肝炎患者に対する医療費助成の拡充を求める意見書(案)の提出について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	○	14	0
議案第66号	指定管理者の指定について (求菩提キャンプ場)	継続審査	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	○	14	0

議案第66号については、「継続審査」に対する賛否を問いました。

一般質問

そごが聞きたい・なんとかしたい

『同志会』の一般質問



渡邊 一



爪丸 裕和



福井 昌文

【質問項目】

- ① 福祉
- ② 企業誘致
- ③ 教育問題
- ④ 市税及び使用料等の徴収
- ⑤ 防災対策
- ⑥ まちづくり構想

※ ここに掲載している質問のやり取りは、1ページです。詳細については、市のホームページに全文を掲載していますので、そちらをご覧ください。また、議会事務局及び総務課に会議録を置いていますので、お気軽にご閲覧ください。

積極的な 企業誘致活動を

福井議員 人口減少に歯止めを掛けるためには、企業誘致は特に重要な取り組みであると考えます。小石原工業団地を拡張すると聞いていますが、企業誘致に対する現在の取り組みと今後の見通しについて伺いたい。

トップセールスが積極的に活動しているところ。市長の今の活動状況を伺いたい。

市長 情報を知らせる、セールスをするのが大きな力になっていくと考えている。やはり、訪問すればそれなりの反応があると実感している。現状については先方との関係上控えさせていたいただきたい。

市長 昨年度は県と自動車関連企業にお願いして、専門職の人材を探したがいなかった。知識と交渉力を持った人を育てていかなければならないと思っており、今は私自身が動いているところである。

福井議員 企業誘致に専門職を配置し、地元企業

福井議員 東九州自動車道開通に向け、他市町村に負けないよう企業誘致に対する意欲の向上を期待する。

福井議員 27年3月の東九州自動車道の開通に向け企業誘致を行わなければ、他の市町村に遅れをとると思う。私が調べた先進地の例を挙げると、市町村長の明確なリーダーシップのもと企業誘致体制を整えられ成功をあげているとか、市町村長自らが企業を訪問する等



小石原工業団地

早急に市民会館の建替えを

8万7710円となっている。次に他市町の施設利用件数であるが、25年度はフォーユー会館が63件、コマレが10件、げんきの杜が49件、中津文化会館が14件となっている。

爪丸議員 これは3割超が他市町に流れている状況である。市民会館の建設と周辺地域の区画整理を抱き合わせた事業を、市長の決断で何とか前に進めていただきたいと思うが、いかがか。

市長 市民会館以外も老朽化が進んでおり建替えを望む声が多い。一挙にするのは不可能であり、これをどのように整理するか取り組んでいるところである。市民会館については優先度が高いと認

識しているが、今しばらく調査結果の分析をした

爪丸議員 市民会館に匹敵するような老朽化の施設はないと思う。もう的を絞っているのであれば、いつまでに決断するかその期限だけお答えいただきたい。

市長 新年度以降に議論をしていきたいが、どのような財源をもってするのか十分に検討する時間が必要であると思う。議員の熱意ある質問をしっかりと受け止め、情報を集めた上で判断していきたい。

爪丸議員 この問題は住民の関心も高いので、市長の前向きな決断を期待する。

生涯学習課長 まず利用件数については、23年度286件、24年度279件、25年度273件と減少傾向である。利用料についても23年度197万6010円、24年度168万6100円、25年度16



豊前市市民会館

住民が安心できる 防災対策を

渡邊議員 先の広島の大規模な砂災害を受け、国は早急に防災対策を考えているようだ。従来は防災対策には予算が思うように付かなかつたが、今回は違うと思う。まず豊前市の危険地域についての対策を伺いたい。

総務課長 国の土砂災害防止法の改正を受け、10月より豊前市で154箇所の警戒区域を全戸、戸別訪問し、「警戒区域に入っています。早め早めの非難をお願いします。」と説明したところである。また防災訓練、自主防災組織の整備をしていかなければいけないということと、今年度は合河地区の防災訓練をした。来年度については岩屋地区で早急にする必要があると考えている。その他の地域も、まず防災組織の育成強化に取り組んでいきたい。

渡邊議員 危険区域のイ



合河地区防災訓練の様子

ンフラ整備についてもお聞きしたい。どこをどうするのか、県と協議した状況を伺いたい。

建設課長 現在は畑の河川研究所の上の急傾斜地を施工中であると聞いて

いる。また以前施工した部分の修繕や、枝川内の一部も残っていると聞いている。新たにどこをするかというところは、県の連絡がまだない状況である。

渡邊議員 今、国を挙げて防災工事をやれという時期である。もたもたせず早く県と打ち合わせをし、住民が安心できるように工事をしていただきたい。

一般質問

そごが聞きたい・なんとかしたい

『豊明会』の一般質問



鈴木 正博



平田 精一



黒江 哲文

【質問項目】

- ① 人口減少問題
- ② 汚水処理対策
- ③ 国際交流策
- ④ 豊前市の文化行政
- ⑤ 公民館を中心とした自治会活動

※ ここに掲載している質問のやり取りは、「く」部です。詳細については、市のホームページに全文を掲載していますので、そちらをご覧ください。また、議会事務局及び総務課に会議録を置いていますので、お気軽にご閲覧ください。

観光振興のための組織体制について

黒江議員 全国的に人口

減少問題が大きく取り上げられ、消滅可能性都市という言葉が世間を騒がせた。今回はその中でも交流人口対策についてお聞きしたい。交流人口は豊前市の大きな収入源ではないかと思うが、これを増やすためにどのような取り組みが必要と考えているか伺いたい。

総合政策課長 通勤、通学、観光、買い物などいろいろなものを全て含めて交流人口と言うが、最も重要なのは観光振興であると思う。観光に来る方の人口を増やすことによつて、豊前市の賑わいが創出でき、また経済の活性化につながるのではないかと考えている。

黒江議員 やはり観光の中身が重要であると思うが、観光の組織について現在どのような組織を構成し取り組んでいるのかお聞きしたい。

まちづくり課長 観光協会というのが豊前市には

今ないので、市の観光係が中心となり各協議会に御協力をいただき観光行政を担っているような状況である。

黒江議員 観光の中心になる組織ということで、豊前市商工観光振興連絡協議会を立ち上げ取り組んでいるが、その組織の実態、取り組みはどのようなものか伺いたい。まちづくり課長 市と商

工会議所の職員で構成しており、観光だけでなく商業、工業分野の発展のためにお互い協力していることと、勉強会を開いたり視察をしたりというような状況である。

黒江議員 東九州自動車道の開通が迫っているが、観光の取り組みについての組織がしっかり対応を行うのか、今協議をしているということではもう遅すぎるのではないかと。私たちが議会と執行部がこのように議論する目的は市民のためである。豊前市の発展に向けてお互い力を合わせて結果を出していきましょう。

消滅可能性都市

2040年までに20～39歳の若年女性が半減し、行政機能の維持が難しくなるとみられる自治体。介護保険や医療保険など社会保障の維持が難しくなるほか、雇用も確保しづらくなる。有識者らでつくる民間研究機関「日本創成会議」が全国計896の自治体に上るとする独自の試算を公表した。

汚水処理施設について 市長の決断を

鈴木議員 11月に行った議会報告会で、市民より質問があった液肥の件について伺いたい。農林緑化肥料は値段が安く効果もあり、年々利用者が増えている状況であると聞く。また市長が最近盛んに言っている液肥も安く効果がある。椎田町では20年以上の時間を掛けて住民の理解を得て成功している。しかし豊前市でこれを始めるとしたら、非常に難しく時間が掛かるのではないかと思う。撒いたときには当然臭いがするし、雨が降ったときには流れ出ることもあ

る。風評被害がいろいろな形で言われているが、市長の考えをお聞きしたい。

市長 私は液肥について可能性があると認識している。風評被害が起きるなどいろいろな問題があるが、全部誤解に基づいた話である。認識をしてもらう時間がとれないからやめるというのでは、何も変わっていかないのではないか。しっかりと訴えて認識してもらえば変わっていくだろうと思う。

鈴木議員 現在、環境施設組合の施設の更新というところで、組合で協議していると思う。隣の吉富、上毛の施設も更新の時期を迎えていると聞い

ている。もし二町が加わり新しい施設の計画をすれば負担も軽くなる。そのような周りの状況もあるので、今が決断のチャンスではないかと思うがいかがか。

市長 ちょうど今切り替えの時期に向かっている。市民の利益になることは何か、財政力のないこの地域の中でどうすれば良いのか、より知恵を絞っていきたくと思う。液肥への理解が時間的に間に合わないということであれば、見直していく必要もあると思う。

鈴木議員 理想論ではなく、実現可能な事業計画をお願いします。



豊前広域環境施設組合

文化を育てるまちに

平田議員 教育委員会が27年5ヶ月の長きに渡り発行してきた「豊教だより」が、100号をもって閉刊になったということであるが、その理由を伺いたい。

教育長 前岡崎晃教育長が大変苦勞されて資料を調べ、毎号執筆していた

だいていた。まだまだ活躍していただきたい思いはあったが、本人が高齢ということもあり、相談のもと閉刊という形になった。

平田議員 最後の100号の中で教育長が3点ほど挙げています。教育行政の狙いや考え方を広く市民に知らせる。豊前市を育てた偉人の業績を知らせる。体育・文化活動で入賞した子どもをお知らせし励みとする。これを今後はどのように広報していくのかお聞きしたい。

教育長 必要に応じて市の広報に載せたり、ある

いは埋蔵文化財センターや求善提資料館等で展示ができればと考えている。

平田議員 豊教だよりで知らせてきた偉人の業績を、次の世代の子どもたちへ伝えていくためにも冊子等にまとめてはどうか。

教育長 今後検討していきたいと考えている。

平田議員 文化活動は興

味を持つ人が少ないこともあり、なかなか表に出ない。文化活動で入賞した方を大きく広報に載せたり、表彰したりして励みになるようお願いしたい。

生涯学習課長 提案いただいたように、市民の方に広く広報活動をしていきたいと考えている。

平田議員 文化を育てるのはそのまちの評価だとも思う。いくら産業が育っても文化が育たなければ良い市にはならない。ぜひ頑張っていたきたい。



豊教だより 第100号

一般質問

そごが聞きたい・なんとかしたい

『豊翔会』の一般質問



安江千賀夫



岡本 清靖



尾澤 満治

【質問項目】

- ① 防災
- ② 築上中部高校跡地の活用策
- ③ 公共施設等総合管理計画の策定
- ④ 豊前市の観光スポット
- ⑤ 協働によるまちづくり
- ⑥ 観光振興
- ⑦ 人口増対策

※ ここに掲載している質問のやり取りは、ごく一部です。詳細については、市のホームページに全文を掲載していますので、そちらをご覧ください。また、議会事務局及び総務課に会議録を置いていますので、お気軽にご閲覧ください。

築上中部高校跡地の有効的な活用を

安江議員 築上中部高校跡地は、10年ほど前に統合中学校用地として活用するとの答申が出された。

その後月日が経過し、跡地を取り巻く環境も大きく変化している。今回この答申について審議会で見直しの検討がなされていると聞く。その状況についてお聞きしたい。

たい。

学校教育課長 アンケートについては審議会の中でも議論し、関係者の意向を確認したほうがよいとのこと、小・中学校の保護者及び全区長を対象に今、アンケートを実施しているところだ。

安江議員 そこで、この跡地の活用に関して個人的に提案をしたい。荻田から中津にかけてこの地域が新しい自動車産業の集積地になりつつあり、

豊前市はその中心に位置する。上毛町でも築上東高校跡地を宅地分譲していると聞く。豊前市も地の利を生かして、近隣の自治体から人を呼び込めるような魅力ある居住空間に、この跡地を活用してはと思うが、いかがか。

市長 この築上中部高校跡地については、現在、審議会等で見直しを行っている途中だ。議員ご提案の件について、1等地にある貴重な資源のため、どのように活用するのかは、多くの皆さんから意見を聞き、納得のいく方法で活用できればと考えている。

しかし、その後、市町村合併の不調や国・地方の財政の悪化により新設中学校の建設が厳しい状況となっている。このような状況を受け、平成26年7月に通学区域審議会を立ち上げ、再度、中学校の適正規模等について諮問したところだ。

安江議員 地域住民や保護者に対してアンケートを実施するのをお聞きし



築上中部高校跡地

市内観光スポットのPRを

現在整備中の求菩提ルート、あじさいルートの他にも魅力的なルートを作り、より多くの人に来てもらえるよう取り組んでいきたい。

岡本議員 そこで、森林セラピーの案内板に関して、地元への設置だけではPR効果が小さいと思う。今度、東九州自動車道が開通するが、豊前インターチェンジに案内板の設置を考えているのか伺いたい。

まちづくり課長 現在、インターチェンジを降りた正面の県道に市の総合案内板を設ける予定である。しかし今の予定では、県道は求菩提方面へ開通しないため、森林セラピー

1等の看板は設置するが開示できない状態だ。今後、開通したら開示したいと考えている。

岡本議員 森林セラピー基地がオープンしたことにより、今後観光客が多くなると思う。観光地の入り口である大河内にドライブインの廃屋がそのままあり、見た目が悪い。行政により何らかの手が打てないのか伺いたい。

市長 私たちは慣れているため何とも思わないが、初めて見る人は違和感を感じると思う。現在、関係者と連絡を取っており少し時間がかかっているが、今後行政として何らかの手立てをしたいと思っている。



森林セラピー基地グランドオープン記念式典パンフレット

市の活性化のため 観光情報の発信を

尾澤議員 豊前市には観光資源が豊富にあり素晴らしい地域であるが、まだまだ有効活用できていないようにある。先日、森林セラピー基地がグランドオープンしたが、今までのイベント等の実績及び今後の予定について伺いたい。

農林水産課長 グランドオープン当日、式典への参加者が83名、式典終了後の体験ウォーキング参加者が50名。その後の各種イベント等には合計で244名の参加となっている。なお、今後の計画としては、セラピーロードの新設や森林の持つ癒し効果を利用した企業の福利厚生事業の活用などを計画している。

尾澤議員 そこで、豊前市の観光資源をPRするために総務省が推進している「地域おこし協力隊」を招致し、外から見た豊前の素晴らしさを市外の

人に紹介してはと思う。市は協力隊員の招致を予定していると聞くが、募集方法について伺いたい。

総合政策課長 1月に福岡県が地域おこし協力隊募集のPRブースを東京に設けるので、そこで募集を予定している。また、協力隊募集のサイトがあり、そこを通じて募集したいとも考えている。

尾澤議員 市のホームページに、ふるさと納税に

関する応援コメントが掲載されていた。これらの人に豊前市の素晴らしい応援団になってもらうためにはフォロワーが必要だ。市としてどのようなフォロワーをするのか伺いたい。

総合政策課長 登録するとメルマガジンを作成する在外市民課というのを作る予定だ。メルマガジンを通じて、豊前市のいろんな情報を配信したいと考えている。

尾澤議員 市の観光情報やイベント等のいろんな魅力情報を配信することで応援団を増やし、市への観光客増や活性化につなげてほしい。



豊前市オリジナル年賀ハガキ

一般質問

そごが聞きたい・なんとがしたい

『新世豊友会』の一般質問



秋成 茂信



磯永 優二



榎本 義憲



山崎 廣美



鎌田 晃二

【質問項目】

- ① 医療費適正化対策
- ② 通学路
- ③ AED
- ④ 有害鳥獣駆除
- ⑤ 豊前市食育計画
- ⑥ 農業学習
- ⑦ 廃屋等の対策
- ⑧ 地方創生事業対策
- ⑨ 都市計画事業

※ ここに掲載している質問のやり取りは、ごく一部です。詳細については、市のホームページに全文を掲載していますので、そちらをご覧ください。また、議会事務局及び総務課に会議録を置いていますので、お気軽にご覧ください。

適正化事業で医療費の削減を

鎌田議員 豊前市の国民健康保険税は高いので、安くならないかと相談を受けるが、保険税を下げるには市民一人当たりの医療費を少なくするしかないのではないかと。そこで、お尋ねしたい。福岡県及び豊前市の一人当たりの医療費が全国的にどの位置にあるのか伺いたい。

市民健康課長 福岡県は、全国で平成22年度・23年度同じく14位、24年度15位、豊前市は、県内で平成22・23・24年度と1位である。

鎌田議員 豊前市は医療費が高いので、様々な検証をしながら適正化に努めなければならぬ。特定健診の受診率は、約24%で全国平均をかなり下回っていると思うが、アップを目指してどのような取り組みを考えているのか伺いたい。

市民健康課長 医師会等とよく協議しながら、集

団健診の実施回数・みなし検診を増やし、豊前いきいき健康マイレージ事業を充実させ、受診率の向上に努めたい。

鎌田議員 特定健診の受診率が高いところが医療費は低いようであるので、色々な事例を参考にしながら取り組んでもらいたい。受診後の保健指導を豊前市は頑張っているようだが、実績を伺いたい。

市民健康課長 平成25年度58.1%、福岡県は40.3%でかなり上位だと認識している。今後は、国の目標である60%に向けて努力したい。

鎌田議員 国は平成27年度からデータヘルス計画の作成と実施を求めているが、取り組み状況を伺いたい。

市民健康課長 12月から国保連合会の支援を受け、平成27年3月に計画が出来上がる予定である。また、4月から計画に基づき保健事業を実施していきたい。

鎌田議員 ジェネリック医薬品を使用することで約200万円医療費が下がったという資料をもらったが、これからの普及・啓発の方策をお尋ねしたい。

市民健康課長 国保加入者で、新薬と旧薬で100円以上差のある方に通知しているが、効果が表れていると考えるので今後も続けていきたい。



健診の様子

農業学習を通じ 食の大切さを

り、また、地域の農家の協力を得て水稲・かぼちゃの栽培を行っている学校もある。

山崎議員 やはり日本の根幹は農業である。その農業に年少のころから魅力を持ってもらうためには、豊前市独自の地域に合ったカラーを出すべきである。そこでお尋ねしたい。平成25年度の実績を見ると、農業体験が5年生だけとか学校で取り組みがまちまちであるが、全校を上げて取り組んでどうか。また、中学校では2校が実施していないがなぜか。

教育長 調査の段階であり、もし実施しない場合は、体験させるように指導したい。

山崎議員 全国で小学生に農業を学ばせる動きが広がっている。その体験を通じて児童が友達と協力する楽しさ、食べ物への感謝、この2点が学べて非常に良かったと農業新聞に記載されている。そこで市内の農業体験の現状をお伺いしたい。

教育長 各教科の中で、地域・人・ものに着目した作物の栽培活動を通じて、身近な食文化への関心という形で、各学校が特色ある取り組みをしている。

学校教育課長 小学校10校は畑・菜園を持ってお



小学生の田植えの様子

山崎議員 豊前市食育推進計画にも学童農園をやるべきだとあり、また、「小中学校の学童農園を整備しませんか」と国の補助事業にもある。是非、学童農園の整備に取り組んでもらいたい。

教育長 小・中学校で1年間の教育計画を立てる中で研究したい。

山崎議員 様々な食育の方法があると思うが、農協及び関係機関と連携し、今までにないふるさと豊前まつり等を開催し、食の大切さを訴えてほしい。また、豊前市食育計画に沿い、学校にも農業の大切さを十分に理解してもらい、力を合わせて取り組んでいただきたい。

生活環境課長 国の後押しがあったと考え、税務課等と連携し、1件でも多く危険家を崩すように取り組んでいきたい。

榎本議員 今回の法改正で、納税情報等の開示が予定されているが、全課で共有するという体制が出来上がっているのかお尋ねしたい。

税務課長 固定資産税の所有者の確認というのが主な内容だが、今後国の情報を集めて十分に検討

知恵を絞り 至急、廃屋の除却を

していききたい。

榎本議員 国の状況は、もう既に固定資産税の情報はお互いに共有するという法律が出来ている。そこでお尋ねするが、現在、廃屋の中で所有者が滞納している件数は何件あるのか伺いたい。

税務課長 平成26年7月1日現在、危険家屋178件中、滞納者は18名である。

榎本議員 廃屋で近隣に迷惑をかけている物件で、税金の滞納があれば差押えて公売等の措置ができるはずだ。税務課として把握し、廃屋対策に積極的に取り組んでほしい。また、公園化・観光の名所にするために公売等をした物件を市が購入できるか検討したことがあるのか、お尋ねしたい。



財務課長 公売については、市が差押えした物件は基本的には購入出来ないが、知恵を絞っていき

榎本議員 市民の方々が迷惑を被る事案に対して、早急に内部で協議し対応していただきたい。

一般質問

そこが聞きたい・なんとかしたい

『無党派』の一般質問



宮田 精一

【質問項目】

① 住民の立場に立った

滞納整理のあり方

※ ここに掲載している質問のやり取りは、ごく一部です。詳細については、市のホームページに全文を掲載していますので、そちらをご覧ください。また、議会事務局及び総務課に会議録を置いていますので、お気軽にご覧ください。

住民の立場に立った滞納整理を

宮田議員 先の9月議会は決算議会であり、この中で税金や使用料等の滞納処理が大きな問題となった。私は住民の立場に立った滞納処理のあり方が重要であるとの立場である。そこで住宅新築資金に関して現在の滞納状況についてお聞きしたい。

総務課長 豊前市の25年度末の滞納状況は35件（24名）約1億317万円となっている。24名のうち、10名は分納誓約により納付、5名は死亡、3名が行方不明、残り6名は65歳を過ぎた方で生活保護等の生活困窮者となっている。

宮田議員 以前、弁護士を活用した行橋市の住宅新築資金の回収のやり方を提案したが、その後の取り組み状況をお聞きたい。

総務課長 行橋市では法律の専門家である弁護士と分析・検討を行い、回

収見込みのあるものに対して催告書の送付や法的措置等を行ったと聞く。しかし、豊前市では以前より個別訪問等を実施し回収に努めており、滞納者は説明したとおりとなっている。そのため、現在は滞納者個々の返済能力に応じた回収を行っているところだ。

宮田議員 住宅新築資金は平成38年が最終年度と聞いている。豊前市は毎年300万円程度を回収したとしても、あと12年で3600万円しか

回収できず債権が多く残る。行橋は半年で2900万円回収でき、債権は残りわずかかと思う。この点を市はどのように考えているのか伺いたい。

総務課長 行橋市は不納欠損をかなり実施しており、豊前市は一度も行っていない点が大きな違いだ。国は38年度までに全国状況を把握し、最終的な処理方針をだすと聞いている。豊前市は国の方針に対応できるような債権を留保している状況だ。

宮田議員 この住宅新築資金貸付については借利率がお金であり、当然返済すべきものである。その点を踏まえて市はきちんとした対応をお願いしたい。



開かれた議会を目指して

第3回 議会報告会を 開催しました!!

日 時	場 所	参 加 者	アンケート回収率
11月12日(水)	岩屋活性化センター	48人	56%
11月13日(木)	総合福祉センター	76人	71%
11月14日(金)	中央公民館	42人	64%
11月21日(金)	山田公民館	107人	58%

昨年の11月に議会報告会を開催しました。

この報告会は、市民の皆さんに議会の中で審議・議論したことについて報告をしたり、市政全般あるいはそれぞれの地域が抱える課題などについて意見交換を行うなど市民の皆さんとの対話を通じて信頼関係を築くことを目的に行うものです。

今年で3回目となる報告会では、議会側から各常任委員会で審議・議論した「老朽危険家屋解体に関する支援」や「こども医療費助成の拡大」「水産振興」「耕作放棄地対策」などに関して報告しました。

その後、あらかじめ出していた各地域の課題や要望についての意見交換を行いました。

また、参加者にご記入いただいたアンケートには、「今後も続けてほしい」や「市民の意見が直接伝えられて良いと思う」と言った意見があり、私たち議員も大変心強く感じております。

なお、それぞれの会場で皆さんからいただいたご意見・ご要望については、執行部にも伝えておりますし、今後の議会活動に活かしていきたいと思っております。



●議会を傍聴しましょう

市議会の様子を知る最もよい方法です。
 多数の方の傍聴をお待ちしています。

委員会視察研修を実施しました！！

総務委員会

平成26年10月28日～29日に埼玉県富士見市と総務省、厚生労働省で研修を実施しました。

富士見市では「防災メールの配信」などの研修を行いました。以前は防災無線により情報を流していたが、気密性の高い高層マンションや天候などの状況により放送内容が聞き取りにくいとの意見が寄せられたため、平成23年より防災メールを配信しているとのこと。

総務省では「ICTを活用した防災対策」などの研修を実施。東日本大震災以降の防災行政無線の全国的な取り組みや防災対策などについて意見交換を行いました。

また、厚生労働省からは「地域における医師の確保対策」について説明を受け、全国の医師確保に向けた取り組みなどについて意見交換を実施しました。



文教厚生委員会

平成26年10月16日～17日に文部科学省とまち・ひと・しごと地方創生本部で研修を実施しました。

文部科学省では「教育委員会制度の改正」について研修をしました。今回の改正には ①教育委員長と教育長を一本化した新「教育長」の設置 ②教育長へのチェック機能の強化と会議の透明化 ③すべての地方公共団体に「総合教育会議」の設置 などの内容が盛り込まれる予定との説明がありました。

地方創生本部からは「まち・ひと・しごと創生法案」の概要について説明を受け、意見交換を実施しました。



産業建設委員会

平成26年11月5日～6日に兵庫県宝塚市で「開発まちづくり条例」及び「防災公園」について視察研修を実施しました。

開発まちづくり条例は、市・市民・開発事業者の協働により地域の特性に応じた良好な住環境の保全及び都市環境の形成を目的に制定されたもので、地区のまちづくりのルールとして活用されています。

防災公園は、阪神淡路大震災の経験を踏まえ、市の中心部に飲料水用の貯水槽や食料備蓄倉庫、太陽光発電などを完備した災害対応用の公園として整備されたものです。なお、平常時は地区公園として一般市民が自由に利用できます。



編集後記

新年あけましておめでとうございます。本年も市民の付託に応えられる議会を目指したいと思います。今年、市制60周年の節目の年であり、いよいよ東九州自動車道が開通し、福岡都市圏から1時間余りで本市に入れます。

このようなハイスピードの時代に、豊前市のすばらしい自然や文化、山や海の幸などの特色を生かした、スローライフな生活、スローフードの食文化を満喫できる絵を私は元旦の初雪のキャンパスに描いてみました。

このような、地域のアイデンティティを生かすことが、地方創生につながるのではないかと思います。季節柄、寒い日が続きますが健康管理に留意され、今年1年すばらしい年でありますよう祈念いたします。

尾澤 満治

次回の
定例市議会は

3月
です